

2025.5

Hibarigaoka High School Library

Libraree

Vol.2

冬が長い富士山麓も、ようやく春らしく暖かい毎日になりました。連休が終わり、バタバタしているうちに、来月頭には令和7年度一発目の定期テストがありますね。今月のうちにしっかり準備をして備えましょう。図書館オリエンテーションで実施した漫画☆アンケートの集計も終わりました。近々蔵書に加わる予定ですので、お楽しみに♪果たして、何が選ばれたのか？

自分のスマホで 蔵書検索してみよう！



昨年度から、各自のスマホ及びPCからひばりが丘高校図書館と山梨県内の県立高校の蔵書検索ができるようになりました！QRコードを読んで、アクセスしてみてください。ひばりに無くても、他校にあれば、相互貸借で借りることができますよ。新刊本と新雑誌もチェック！



ひばりが丘高校図書館
蔵書検索

相互
貸借
用



山梨県立高校
蔵書検索

読んでから観るか、観てから読むか



吉田 修一 朝日文庫

国宝

原作は、文庫本で上下合わせて800P超えの大作。これをどう2時間54分にまとめたのかも見どころ。また、主役に歌舞伎役者を敢えて起用しないキャスティングにも注目。配給会社が歌舞伎を扱う松竹ではなく東宝なのも妙。

李相日監督が「悪人」「怒り」に続いて吉田修一の小説を映画化。任侠の家に生まれながら、歌舞伎役者として芸の道に人生を捧げた男の激動の人生を描いた人間ドラマ。

主人公・喜久雄を吉沢亮、喜久雄の生涯のライバルとなる俊介を横浜流星、喜久雄を引き取る歌舞伎役者・半二郎を渡辺謙、半二郎の妻・幸子を寺島しのぶ、喜久雄の恋人・春江を高畑充希が演じる。脚本を「サマー・ウォーズ」の奥寺佐渡子、撮影をカンヌ国際映画祭パルムドール受賞作「アデル、ブルーは熱い色」を手がけたソフィアン・エル・ファニ、美術を「キル・ビル」の種田陽平が担当。2025年・第78回カンヌ国際映画祭の監督週間部門出品。

ストーリー

任侠の一門に生まれた喜久雄は15歳の時に抗争で父を亡くし、天涯孤独となってしまう。喜久雄の天性の才能を見抜いた上方歌舞伎の名門の当主・花井半二郎は彼を引き取り、喜久雄は思いがけず歌舞伎の世界へ飛び込むことに。喜久雄は半二郎の跡取り息子・俊介と兄弟のように育てられ、親友として、ライバルとして互いに高めあい、芸に青春を捧げていく。そんなある日、事故で入院した半二郎が自身の代役に俊介ではなく喜久雄を指名したことから、2人の運命は大きく揺るがされる。

Continue to the back

New Arrival Books



□謎の香りはパン屋から The mysterious scent comes from the bakery 土屋 うさぎ 宝島社

パン屋でアルバイトをしている大学生の小春は、あるとき親友の由貴子にドタキャンされてしまう。誘ってきたのは彼女のほうなのにどうして？小春は彼女の行動を振り返り、意外な真相に辿りつく…。<日常の謎>連作短編集。焦げたクロワッサン 夢見るフランスパン 恋するシモンロール さよならチョココネ 思い出のカーパン。第23回『このミステリーがすごい！』大賞・大賞受賞作

■天気でよみとく名画 フェルメールのち浮世絵、ときどきマンガ 長谷部 愛 中央公論新社

描かれた場所と時代の天気知れば、絵画をもっと楽しめる！北斎の雲、モネの寒波。「悪魔」の正体は局地風(ゴッホ「星月夜」)、描かれた雲から降水確率もわかる(フェルメール「デルフト眺望」)。古今東西の名画やマンガを「天気」という視点で見直す。美大の人気講義。



□校正・校閲11の現場 こんなふうに見ている 牟田 都子 KTC中央出版

マンガ、レシピ、ウェブ、地図、新聞、言葉のあるところには、すべて校正がある。15年以上、本の校正をしてきた著者が、校正・校閲の11の現場を訪ね、同業の人たちがどんな気持ちでどのように仕事をしているのかを聞く。※校正とは文章としての整合をとるため、主に表現の誤りを見つけていく作業。校閲とは記載内容の整合を図る作業です。

■新・古代史 グローバルヒストリーで迫る邪馬台国、ヤマト王権 <NHK出版新書> NHKスペシャル取材班 NHK出版

日本という国は、いかに誕生したか？卑弥呼と三国志、空白の4世紀と技術伝来、倭の五王と東アジア情勢。最新の発掘調査とAI・DNA分析などの科学的アプローチ、さらには中国や韓国の国際研究の成果から、「日本」という国の始まりを多数の写真や図版とともに解説する。



□目には目を 新川 帆立 KADOKAWA

なぜ少年Aは殺されたのか？少年院で出会った6人の重罪犯。彼らは更生して社会に戻ったが、少年Bが密告して、娘を殺された遺族が少年Aを殺害した。かつての少年6人のうち、誰が被害者で、誰が密告者なのか？奪われた命が、彼らの真実を浮かび上がらせる。

■バニラな毎日/バニラなパカンス <幻冬舎文庫> 賀十 つばさ 幻冬舎

洋菓子店を閉じるはめになった白井の前に、常連客だったマダムが現れた。次の借主が決まるまで厨房を貸して欲しいという。そこで彼女が始めたのは、「悩みがあること」が参加条件という風変わりなお菓子教室。/白井とマダム佐渡谷でお菓子教室を始めたが、マダムが恋人と別れて意気消沈。彼女を励ますために、白井はあるケーキを作る。心も体も癒されるスイーツ小説。



□逃亡者は北へ向かう 柚月 裕子 新潮社

人生を変えるために青年は北を目指した。震災の混乱の中、二つの殺人事件が起きた。逃亡する容疑者と追う刑事。二人はどこへたどり着くのか？

3月の東北。震災直後に殺人を犯してしまった真柴亮は、一通の手紙を手に北へ向かう途中、家族とはぐれた子供と出会う。一方、刑事の陣内康介は、津波で娘を失いながらも真柴を追う。

■高宮麻綾の引継書 城戸川 りょう 文藝春秋

精魂込めて作り上げた新規事業が、親会社に潰された。理由は“リスク回避”。怒りを爆発させた3年目の社員・高宮麻綾は、社内外を駆けずり回り、“リスク”の調査に乗り出す。東大卒の現役商社マンが描くミステリー。



□梅の実るまで 茅野淳之介幕末日乗 高瀬 乃一 新潮社

大切なひとを守るとき、私は刀を選ばない。お役目がなく武芸はからっきしの茅野淳之介は、学問で身を立てないが時流に乗れないでいる。そんな中、ある娘の見張りをきっかりに、攘夷の渦中へと呑み込まれてゆく。近しい人々の非業の死を乗り越えようやく見つけた次代につながる道とは。

■准教授・高槻彰良の推察EX3 <角川文庫> 澤村 御影 KADOKAWA

ゼミ合宿の写真を見ながら、尚哉は写真にまつわる高槻の講義と、女子校の美術部にある絵についての依頼を思い出す。絵から抜けだした女を見ると呪われるという怪異。果たして本当に怪異なのか？彰良を始め、助手の深町くん、叔父の涉さん、謎の美女沙絵さんにまつわる番外編を収録。

